

テーマ	(多摩10)相談・支援力向上研修 認知行動療法に基づく支援～子どものこころの問題に取り組む実践例～
日時	令和8年8月7日(金曜日) 午後1時25分から午後4時45分
対象	<p>・都内(主に多摩地域)の精神保健福祉活動に従事する行政機関、相談機関、医療機関、教育機関、障害福祉サービス事業所、その他関係機関職員の方</p> <p>※主に相談分野に初めて携わる方や基本を学びたい方向けの基礎的な内容となります。</p> <p>※研修の受講可否については、研修2週間前までに送付するご案内をご確認ください。</p> <p>※「研修当日のご案内」「資料」を研修1週間前ごろ送付します。詳細をご確認ください。</p> <p>※Zoom視聴に必要な環境:パソコン、タブレット等の端末で画面を見ることができ、音声を聞くことができるインターネット環境があること。</p>
定員	オンライン(Zoomウェビナー)定員200名

## プログラム

開始時間	講義名・講師	内容
午後1時10分から Zoom入室開始 午後1時25分から 研修案内		
午後1時30分から  午後4時30分まで (予定)	<b>認知行動療法に基づく支援 ～子どものこころの問題に 取り組む実践例～</b>  千葉大学 大学院医学研究院認知行動生理学教授、 医学部附属病院認知行動療法センター長、 子どものこころの発達教育研究センター教授 精神科医、公認心理師 <b>清水 栄司氏</b>	<p>精神疾患では児童・青年期からの発症も少なくありません。</p> <p>子どものこころの成長と共に、うつや不安、強迫、摂食や発達の問題などのメンタル不調の症状が現れ始めます。こころの病気も、早期発見・早期介入が大切です。</p> <p>認知行動療法は、医学的に根拠のある精神療法です。</p> <p>今回の研修では、子どものこころの問題に地域で活かすことができる認知行動療法的なアプローチを学び、相談支援力の向上を目指します。</p>
午後4時30分から 事務連絡、アンケート記入等		午後4時45分終了予定